

2000年6月16日(金)～9月9日(土)

絵画に描かれた

# 平塚大空襲



『平塚大空襲 - 学徒動員・15歳の死と生 - 』（部分） 2280×3200 平野哲男氏（東京展会員・日本美術会会員）

昭和20年7月16～17日、平塚は米軍による激しい空襲を受けます。この空襲により、当時、平塚第二海軍火薬廠に学徒として動員されていた茨城県立麻生中学校生徒（永峰 光君）一人が焼夷弾の直撃を受け死亡します。亡くなった生徒の友人であり、一緒に動員されていた平野哲男氏は、その時の印象を、「平塚大空襲 - 学徒動員・15歳の死と生 - 」と題し描きました。

この作品は、1999年3月開催された「日本アンダパンダン展＜20世紀の戦争と人間＞展」に出展展示され、高い評価を受けたものです。この度、この絵が平野哲男氏のご好意より博物館に寄贈されることになりました。6月16日から始まる寄贈品コーナー「平塚大空襲」の展示期間中にご紹介したいと思います。